

新型コロナ第3波対策強化プラン

1. 感染者の多い世代等への予防・啓発の推進

- 県内の大学等と連携し、学生への予防・啓発を推進するなど、若者向けの啓発を実施
- 大学等で感染者が発生した場合は、PCR検査の集中実施等を大学と保健所が連携して実施

2. 店舗等におけるクラスター対策の徹底

- 一定のエリアでクラスターが発生した場合、臨時のPCR検査センターを設置
- 安心・観光・飲食エリアの推進など、協賛企業と連携したクラスター予防対策の実施

3. 感染拡大防止に向けた科学的アプローチの強化

- 専門家チームを活用した感染状況の分析(定期的なモニタリング)
- 遺伝子解析結果をもとに、感染ルートを解明
- PCR検査データの特異値の活用

4. 医療・検査体制の充実・強化

- 診療・検査医療機関(272機関、11/10現在)の更なる増加
- 院内感染に伴う休業補償、事務職員等の労災給付上乗せ補償保険加入支援(11月補正要求)
- 院内感染防止対策の推進、診療・検査機器の充実、患者移送体制の強化(")
- 最大検査処理能力の更なる拡充: 第2波までの計画2,800検体 → 現在4,500検体 → 更に5,000検体を目指す
- ECMO配置数: 第1波時 1病院・2台 → 現在 3病院・5台 → 4病院・11台(今年度中)

5. 入国制限措置の緩和に伴う取組強化

- 外国人入国者の健康観察や外国人陽性者の支援体制の構築
 - ◀ 外国人相談窓口(国際交流財団)の設置、通訳人材の事前登録、関係書類の多言語化で、健康観察や疫学調査において陽性者や保健所を支援